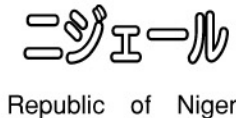




ユニセフと地球の子どもたち ②

http://www.unicef.or.jp



若い年齢で結婚 させられる女の子たち

アフリカにあるニジェールのような開発途上国では、早婚といって、女の子が若い年齢で結婚させられてしまうことがあります。大人になる前に結婚すると、学校に行ったり、友だちと遊んだりできないだけでなく、女の子の体にとっても深刻な危険がおよぶことがあるのです。そんなつらい体験をした女の子、アマダ・アブダさん(十五歳)のお話を聞いてみましょう。



わたしがくらして
いるニジェールでは、昔から女の子が生まれるとすぐに、お父さんが娘の将来の夫を決めてしまいい、幼いうちに結婚させる習慣があります。

13歳で産んだ 最初の子ども

わたしも八歳で親の決めた相手の家につれて行かれました。その家では、毎日、何時間かかけて水をくみに行かなくてはなりません。ほかに食事の準備や畑をたがやす仕事など、朝から晩まで体がくたくたになるまで働かされました。もちろん、学校に行くことなんてで

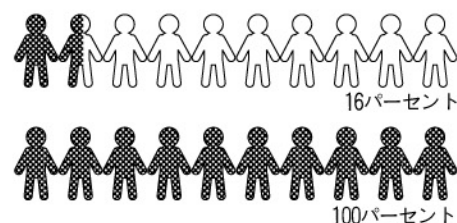


女の子がたくさんいるのです。そんなある日、村長さんの協力でユニセフの講習会が開かれました。講習会では、早婚が原因で女の子が苦しんでいることや、女の子にも学校に行く権利があること、十六歳以上



たちを説得するた
めには、まずは村
長さんに理解
してもらって
とがとて大
切です。ユニ
セフは、国中
の村長さんに
協力してもら
って、女の子
を早婚から守
るための取り
組みを始めた
のです。

赤ちゃんを産むとき、専門家がたちあう割合



「世界子供白書2005」から

成長期の出産で病気がちの体に 村長ら協力、早婚をなくす活動



©UNICEF/D0193-1930/Giacomo Pirozzi

でないと結婚させてはいけないうことなどが村の人たちにつた

の数が日本の百五十倍にもなるというところを知りました。十人中六人の女性が、出産の前に専門のお医者さんの診断を受けられないから、とくら、はずかしから、という理由で病院に行けないの

男の人たちの 理解と協力を

わたしは、早婚で女の子がつかう思いをしていることを村の男の人たちに理解してほしい、女の子が学校に通えるように協力してもらいたいと思います。そして、女の子も将来の夢を持って、いろいろな生き方がえらべるようになったら、どんなにすてきなことだろうと思うのです。

世界のすべての子どもは「権利」をもち、「子どもの権利条約」に守られています。

子どもの権利条約

親は子どもの成長のために、できるだけのことをしなくてはなりません。親が

もっと 知っていたらいい

ユニセフ募金をする
には、どうしたらいいのですか？

みなさん
が学校や街
ニセフ募金は、郵便局や銀行からふりこむことができます。学校に送られてくるふりこみ用紙を使う場合は、金額と学校の名前や住所などを書いてください。郵便局においてある用紙を使う場合、手数料は加

郵便局からなら無料で

募金活動をするときや集めたお金をふりこむときは、かならず担任の先生や家族の人など、大人といっしょに行ってください。

募金に応じるには？

合は、口座番号に「001900-5」31000、加入者名に「財団法人日本ユニセフ協会」と書いてください。また、手数料は加

ユニセフと いっしょに

東京都世田谷区の松沢小学校

東京都世田谷区の松沢小学校は、一月二十四日から二十八日までを「ユニセフ週間」として、ユニセフの活動や世界の子どもたちのことについて勉強しました。一日に何

世界の子どものことなど劇にして発表

度水くみに行くため、学校に通えない博士がユニセフの活動を紹介します。ひとりりひとりでできることをクイズ形式にして考えました。そして、みんなで相談し



学んだことを児童集会で発表する東京都世田谷区松沢小の子どもたち

